

日時：2019 年 8 月 3 日（土）12：55～17：20

場所：国際文献社会議室（江戸川橋）

出席：石原 将市、菊池裕嗣、松井秋一、能勢敏明、坂本謙二、石鍋隆宏、高頭孝毅、  
間宮純一、長谷川雅樹、北村道夫、山本貴広、永野修作、關 隆史、半那 純一、小村真一  
オブザーバー：鈴木美保子（国際文献社）

（以上、敬称略）

## 議事

12:55 に出席予定者全員の参集を確認し代表理事の発議で理事会が開始された。

### 1. 会長あいさつ

### 2. 配布資料確認

### 3. 報告審議事項

#### 3-1 総務委員会

##### [報告事項]

3-1-1 以下のメール審議について確認を行った。

①2018 年度第 5 回理事会議事録の承認（2019 年 5 月 24 日付承認）

②H31 年度日本学術振興会育志賞候補者推薦の承認（2019 年 5 月 10 日付承認）

③令和 2 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰の候補者推薦の承認（2019 年 6 月 25 日付承認）

3-1-2 会員数の状況、入会者数、退会者数、会費未納状況等について報告された。

3-1-3 その他

①台風等による液晶討論会の中止に関する申合せについて確認を行った。

##### [審議事項]

3-1-4 会費未納者の除籍について

①過去 3 年間に会費を滞納している会員について継続の意思がないものと判断し退会とする事が認められた。

3-1-5 外部表彰について

①日本液晶学会に毎年依頼がある外部表彰は：

1. 財) 茨城県科学技術振興財団 江崎玲於奈賞（受賞者 1 名）：12 月下旬

2. 日本学術振興会 振興会賞（45 歳未満 25 件程度）：2 月中旬頃

3. 日本学術振興会 育志賞（博士課程在学中 34 歳未満 16 名程度  
推薦数 1 名／学術団体）：3 月中旬頃

4. 文部科学省 大臣表彰科学技術賞・若手科学者賞・研究支援賞（件数多）：5 月下旬頃  
（これは今年が初めてだが、継続が見込まれる）

以上の 4 件について、日本液晶学会としての来年度の取り組み方針について審議を行った。

(1)学会として可能性のある方を積極的に推薦する事とする。

(2)事務的な作業は事務局にお願いする。その際の作業増分に対応する事務経費の増加を認める事となった。

(3)主担当は総務 2 年目理事とする。

(4)候補者選出は公募を原則とするが、状況に応じて役員内で検討する等、推薦の締め切りに差し支えないように適宜対応する事になった。指針の詳細は実績を見ながら今後検討する。

### 3-2 財務委員会

#### [報告事項]

3-2-1 2018年7月1日から2019年6月30日までの2018年度会計収支報告が行われた。会員数の減少に伴い会費収入が減少した。昨年度の20周年記念誌に比べてページ数が減少したため編集費が減少した。また、講演会、フォーラム事業による支出が減ったため支出も減少していること等が報告された。

また、約1400万円のILCC2018運営補助収入があり、それに伴い約360万円の大幅な法人税の増加があった事などが報告された。

#### [審議事項]

##### 3-2-2 2019年度予算の修正について

会員減少に伴い会費収入を下方修正した。管理費を約20万円増額した。新しく国際交流未来基金による若手支援事業として50万円を計上した。会誌、講演会、フォーラム事業に係る費用は昨年実績に合わせて修正した事などが報告された。

以上の報告における修正案が承認された。

##### 3-2-3 2020年度の予算(案)について

本部事業として計画されている日伊国際ワークショップの開催事業費を計上した。また、国際交流未来基金の事業費70万円を計上したこと等が報告され、予算(案)が承認された。

##### 3-2-4 編集費の旅費上限について

これまで編集委員会における旅費の上限が30万円に制限されていたが、現状では15万円×3回程度の旅費が必要となる状況が続いているため、上限を50万円に引上げる案が提案され承認された。

##### 3-2-5 国際交流未来基金(仮称)の創立について

ILCC2018の運営補助収入を原資として、標記名称の基金を設立し国際交流を目的とする集会・セミナー等に参加する国内外の若手研究者に対する旅費の補助、および若手の国際的な集会・セミナーの開催を補助する活動を開始する案が提案された。

(1)「国際交流未来基金」の創立が承認された。名称も原案通り承認された。

(2)基金運営委員会のメンバーとして、学会側から石原会長、菊池副会長、石鍋財務担当理事が参加する事が承認された。

(3)同基金の運営について今後要望や提案を受け付ける事が確認された。

(4)国際交流未来基金のスタート金額について議論された。ILCC2018の運営補助収入を原資として設立するが、この資金の受け入れに際して学会側で多額の税金支出があった為その分を差し引いたものが基金のベースになるのではないかとの意見もあった。しかし、基金設立の趣旨を尊重し、学会として新しい事業を充実した形でスタートする立場から税金分は一般会計から支出する事とし、ILCC2018の運営補助収入分をスタート金額として設定する事が承認された。

### 3-3 編集・情報委員会

#### 3-3-1 編集委員会

##### [報告事項]

①4月25日付けで液晶学会誌 Vol. 23 No2 が発行された。

②20周年および10周年記念誌の好調な販売状況が報告された。

③リポジトリ掲載申請が1件あった事が報告された。

④転載許可申請が1件あった事が報告された。

##### [審議事項]

①編集委員会の旅費上限を引き上げる案については、財務委員会の審議において承認済み。

### 3-3-2 情報委員会

#### [報告事項]

① JLCS-Information (同報ML)、WEB について

2019年4月1日～6月30日の間に、[JLCS-Information:237～255]の19記事の配信作業をWEB管理WGにて行った。(液晶誌発行等:1件、主催・協賛等行事案内:14件、公募3件、会告1件)。協賛依頼を4件掲載した。日本液晶学会賛助会員一覧を更新した。「液晶」4月号の発行に伴い、表紙の掲載、研究現場・若手紹介の目次ページを更新した。6月10日に2019年の新パスワードを登録した。

② 2019年液晶討論会 Web ページについて、5月7日に発表受付システム、6月10日に予稿入稿、事前参加登録システムを公開運用した。

③ J-Stage での討論会予稿集について、6月1日付で2018年開催分の予稿集について会員限定(パスワード制限)で公開した。会議終了後2年経過の2020年9月からフリーで公開される。

④ 来年度の運営方針について、引き続き、ボランティアベースで活動(WEB更新、ML配信等)の分担を行う。

[審議事項] 特に無し

### 3-4 行事委員会

#### [報告事項]

3-4-1 2019年度液晶学会討論会の準備状況が以下のように報告された。

開催地:筑波大学 大学会館

現地委員:齋藤一弥先生、山村泰久先生(筑波大学)、秋山陽久先生、大園拓哉先生、武仲能子先生、則包恭央先生、山本貴広先生、米谷慎先生(産総研)、吉尾正史先生(NIMS)

日程:9月4日(水)、5日(木)、6日(金)

ポスター発表:9月4日(水)

懇親会:大学会館内レストラン9月5日(木)

交流会:9月3日(月)(大学会館内会場)

討論会プログラム公開(6/22)・企業セッションプログラム公開(6/22)

交流会プログラム公開(講師等5/8、確定プログラム8/5予定)

◆研究発表申込 5月7日(火)～5月24日(金) 済

◆予稿原稿入稿 6月10日(月)～6月28日(金) 済

◆事前参加登録(事前料金) 6月10日(月)～7月29日(月) \*液晶交流会も含む

#### [審議事項]

3-4-2 2020年日本液晶学会討論会・液晶交流会について以下の通り承認された

開催地:アオーレ長岡(長岡技科大)

実行委員長:木村宗弘教授

日程:9月1日(火)～4日(金)

3-4-3 2021以降の日本液晶学会討論会について以下の通り承認された

2021年:高松(香川大学:舟橋先生)

2022年:東京理科大、神楽坂キャンパス(佐々木先生)

\*以降は、山形(香田・羽場)、兵庫(川月・近藤)が候補に挙がっている。

### 3-5 国際・研究委員会

3-5-1 国際交流委員会 特に無し

### 3-5-2 研究委員会

#### [報告事項]

- ①各フォーラム主査に虹彩賞・若葉賞の審査員の推薦を依頼し、計 28 名を決定した。
- ②合同基礎講座の予定について以下の通り報告された。  
日時：2019 年 12 月 7 日（土）  
場所：東陽テクニカ

[審議事項]

- ①2017 年度第 2 回理事会（2017 年 10 月 28 日開催）において、虹彩賞・若葉賞の実施業務の主体を行事担当理事から研究会担当理事に移管することが審議され、承認されているが、虹彩賞規定（学会 HP より入手可）の第 4 条（審査）は、「虹彩賞の選考は、虹彩賞選考委員会が行う。選考委員長は行事担当理事とする。」のままとなっており、今後の混乱を避けるために、以下の改訂が承認された。「虹彩賞の選考は、虹彩賞選考委員会が行う。選考委員長は研究会担当理事とする。」

### 3-6 選挙管理委員会

[報告事項]

- 3-6-1 代議員選挙について、全員が信任された事が報告された。
- 3-6-2 役員候補者選挙について、全員が信任された事が報告された。

[審議事項]

代議員選挙投票用紙（黄色）の不存在がゼロに対して、役員候補者選挙投票用紙（白色）の不存在が 4 票あった。選挙のお願い用紙（白色）と一緒に破棄された可能性が高い。来年度から、役員候補者選挙投票用紙を白以外の色（例えば、青色）にすることが承認された。

### 3-7 日伊 WS の主催について

開催日時を 7 月初旬の 3 日間に設定する事、宮崎県のコンベンション開催支援補助金の予算が確保されたこと等が報告され、本部事業として取り組む事が承認された。

### 3-8 OLC2021 の日本招致について

OLC 開催の予算書、招致提案書の内容が説明され、日本液晶学会の本部事業として招致する案が承認された。

### 3-9 総会資料の検討

総会資料(案)について検討を行い、総会での報告分担を行った。また、議論になった点の改訂後に改めて検討を行う事とした。

### 3-10 その他

- ①台風等の影響による総会の中止時の対応について議論があり、今後対応策を検討する事とした。

## 4. 理事会日程（総務）

2019 年度第 1 回 2019 年 9 月 6 日(金)12:30~14:00（筑波大学、予定）

以上で審議を終了し、17:20 に閉会した。